（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	当社では多様性を持った事業所を目指しており、特に近年は高齢者の方や女性の方の比率が増加したことから、差別的な言動は特に気をつけるよう徹底しております。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	女性従業員に対するセクハラやマタハラはもちろんのこと、パワハラについても当人の受け止め方が違うことから特に注意するよう心がけています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	**内勤の従業員は平均で月10時間以内、現場の従業員は平均で月10～20時間の残業時間に収めており、長時間労働の抑止に努めています。**								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	当社には外国人労働者はいませんが、協力業者の外国人労働者に対する差別的な言動は厳に慎むよう注意しています。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全対策を徹底し、安全担当を設け定期的にパトロールを行なっているなど、労働安全衛生についての対策を行なっています。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	（予定）現在コロナ禍の影響でレクリエーションなど実施できていませんが、今後従業員のメンタルヘルスのために専門家招致なども検討しています。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	当社は建設業では珍しく、女性従業員が約3割と高比率であることに加え、高齢者も3名在籍するなど、ダイバーシティ経営に積極的に取り組んでいます。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	各研修への参加奨励、資格取得制度の整備、勉強会の開催など、能力開発の機会を設けています。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	雇用形態や勤務時間など柔軟に働いていただけることを心がけていると共に、同一労働をお願いする際には同一賃金により待遇差を設けないよう心がけています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	（予定）当社は現場仕事に携わる従業員も多く、一斉に健康診断の実施などを行うことができません。今後はこの体制を可能な限り見直していきます。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	マニフェスト等に従い、現場で適正な分別のもとに廃棄を行なっています。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	当社ではエネルギー使用量の把握などを現場では実施できているとは言い難いため、今後は正確な使用量の把握に努めてまいります。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	（予定）現場では把握することが十分できていないことから、まずは正確な使用量の把握に努め、そこから排出抑制に繋げてまいります。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	公共事業ではメーカーなどが指定されていることは多いものの、指定されていない場合でも極力有害化学物質を含んでいないものを使用しております。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	現場では常に清掃活動を心がけ、現場周辺の生物多様性に及ぼす影響を最小限に留めています。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	リサイクルマークのついた商品を購入するよう心がけています。また資源回収が可能なものは積極的に回収に回しています。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	事務所での節水はもちろんのこと、現場の水使用も必要部分に留め、無駄を削減することで従来より節水の取り組みが進んでいます。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	(予定)ISO14001をはじめとした規格は取得しておりません。今後必要に応じて取得を検討してまいります。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	(予定)現在ホームページをはじめ、情報開示が徹底できているとは言い難い状況です。今後は積極的に開示してまいります。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	現在当社では再生可能エネルギーを使用しておりませんが、今後は導入を含めて検討してまいります。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	必要以上の調達は行わず、常に適正量を適正な取引先から取得しております。今後も天然資源の持続的利用を心がけてまいります。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	公共工事に絡む汚職や贈収賄などは徹底的に禁止する方針を掲げ、法令遵守を心がけています。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正入札や卯不正競争を徹底的に禁止し、公正な競争を心がけると共に社員にも周知を図っています。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	当社では現在知的財産にかかるものは保有していませんが、今後の経営活動と共に特許や商標などの必要性が生じた場合は知的財産保護に取り組みます。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に関してはアクセスできる社員や役員を限定し、電子データに関してもパスワード保護などにより適切管理を実施しています。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当社では紛争鉱物が絡む業務はありませんが、今後そのような機会が生じた場合は使用の禁止を徹底してまいります。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	SDGsの取り組みに関してサプライヤーと認識を共有しているとは言い難いため、今後当社を取り巻くサプライチェーンの事業者と対話を行い、SDGsの取り組みを浸透させてまいります。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	外部勉強会への参加や社内での共有などをもとに、提供する建造物等の安全性を常に向上させています。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	公的業務にかかるものに対する品質対応は当然のこと、住宅関係の業務においても品質保証やアフターフォローなどを徹底しております。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	当社では当該項目に当てはまる製品開発などはございません。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	国産材の積極活用など行う予定ですが、現場では木材の品質が一定でないことから、今後品質が安定した際には活用を進めてまいります。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域の学校に向けた講演や学生のインターンシップ制度(コロナ禍の影響で延期に)など、積極的に地域活動を実施しています。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域の花火大会への協賛や植樹による寄付活動など、社会貢献活動を継続的に行なっています。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	当社の提携職人は主に地元千曲市と坂城町の職人であり、地域の事業者との連携を積極的に行なっています。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	当社では現在明文化された経営理念が無いため、今後はSDGsの取り組みをもとに経営理念を明文化し、社内で共有してまいります。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	建設業という公共性を求められる立場上、常に法令遵守の体制や仕組みを構築し、社内での共有に努めています。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	建設協会から周知される法改正の情報などは社内で共有を図り、自社の企業活動が社会･環境に悪影響を及ぼさないような体制を整えています。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	関係先の定期訪問により情報交換を行うなど、ステークホルダーとの対話を継続的に行なっています。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	(予定)当社ではリスクマネジメントの体制が整っていないことから、今後マネジメント実施できる体制を構築してまいります。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	建設協会を通じて地域イベントに積極参加しているほか、台風19号災害時には積極的に復旧活動へ参加しました。自社でできないことを協力業者などと連携しながら実施しています。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	(予定)現在当社では持続継続計画、または事業継続力強化計画の策定は行なっていません。従って今後これらの策定を早急に行なってまいります。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	当社では現在事業承継を検討及び準備する段階では無いため、該当しません。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）